学校番号	３１８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）古典特講	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	プログレス古典総演習 四訂版　Key&Point　古文単語 330						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典を代表する作品を正しく現代語に訳せる知識や、文章全体を通して筆者の主張や登場人物の心情を正しく読み取る読解力を養い、その上で想像力をもって古典を深く味わうことを目的とする。それと同時に、古典の長文問題を解くのに必要な実践的な読解力や、読み取った本文の内容を的確に論述したり発表したりできる表現力を養うことも目的とする。

１年次の「言語文化」における古典分野や２年次の「古典探究」などで学習した基本的な知識・思考力をもって文章を理解し、古典に綴られている人間の思いや当時の諸問題・課題、それらを通した人間の真理について自分に引きつけて考えるとともに、論理的思考を用いて確かな読解力を追求する。

基本的に、授業での説明がそのまま考査で問われることはない。学んだことを土台にすれば解答できる、読んだことのない文章も出題され得る。解答や解説、現代語訳をそのまま覚えるのではなく、その解答や現代語訳に至る理屈など、考え方を鍛えることを意識して学習に臨むこと。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

古典作品についての文学史的知識や古典常識、古典文法を正しく理解し、古典の語彙を増やすことで、古典に親しみ、作品を味わうために必要な知識を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

身につけた知識と知識を結びつけながら文章の内容を論理的に読み解く力を伸ばす。また、読み取った内容を的確に他者に伝えられるような話し方・書き方の工夫や、他者の意見を踏まえて自分の考えをより深める思考力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】

既習内容について復習するだけでなく、便覧や辞書などを使ってその都度繰り返し確認し、古典作品を読み解くことを通して自己を向上させ続ける粘り強さを養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古文漢文に用いられる特有の文法（助動詞・助詞・句形)についての理解の深化を試みているか。語彙の意味用法を理解し、正確に読み取る力を養う姿勢があるか。返り点・書き下し文の規則性を理解し、実践的な力を備えているか。	作品に登場する人物の心情や背景を理解し、本文の読解だけでなく、文学作品としての深みを味わっているか。表現技法や解釈に対して興味関心をもって学ぶことで、日本古来の文化を感じとる姿勢があるか。	作品の背景を主体的に考察し、調べ学習を行っているか。学習を通じて得た学びを積極的に共有しているか。計画的に学習予定が立てられているか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	源氏物語 枕草子	a：用言の品詞分解 敬語の復習 b：助動詞の意味用法 古語単語の理解	単語テスト	自習ノート	ワークや小テストのやり直し課題
	蜻蛉日記	a：敬語の復習 古語単語 b：助動詞の実践的な用法 c：文化的背景の理解	単語テスト	自習ノートとワーク	ワークや小テストのやり直し課題
	思想	a：書き下し文の復習 b：句法の確認			
	紫式部日記 奥の細道	b：助動詞の実践的な用法 敬語の理解促進	単語テスト・文法テスト	自習ノートとワーク	ワークや小テストのやり直し課題

2学期	源氏物語 建礼門院右京大夫集 落窪物語 大学入試過去問	a：文法の理解 b：入試問題解法の実践 c：問題演習	文学史テスト･文法テスト	自習ノートとワーク	ワークや小テストのやり直し課題
	史記 漢詩 大学入試過去問 共通テスト問題	a：句形と書き下し文について b：問題演習 c：問題演習	単語テスト・文法テスト	自習ノートとワーク	ワークや小テストのやり直し課題
3学期	大学入試過去問 共通テスト問題	a：問題演習 c：問題演習	レポート	自習ノートとワーク	ワークや小テストのやり直し課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入してください。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　25　）時間

・書くこと　…　（　20　）時間

・読むこと　…　（　25　）時間